



学 園 通

練馬区立大泉学園中学校

平成 29 年 11 月 28 日 発行 校長 晴佐久和彦

地域の一員として

例年より早く本格的な冬の訪れが感じられるこの頃ですが、期末考査を終え、生徒は元気に学校生活を過ごしています。ところで、今月は地域で中学生が関わる様々な行事がありました。

日曜日は練馬区内一斉清掃の日にあたっていました。学園中でもその一環として、週明けの日曜日の放課後に生徒会、整美委員会、各部活動の生徒が中心となり、総勢 130 名ほどで学校周辺の「地域清掃」に取り組みました。参加生徒は、日頃何気なく歩いている通学路の掃除をすることで、改めて街の美化の大切さを感じたことと思います。丁寧に小さなごみを拾う姿が多く見受けられ、とても頼もしく感じられました。協力してくださった保護者の方々、有難うございました。

また、地元の大泉学園町商店会主催の「いちよう祭り」が同じく 26 日の日曜日に行われましたが、本校吹奏楽部が出演してステージを盛り上げ、さらに区の創立 70 周年にちなんで企画された「ご当地かるた大泉学園」の完成発表会とカルタとり大会も開かれました。このカルタ作りには本校代表生徒も夏以来関わらせていただき、地域の愛着につながる素晴らしいカルタが出来ました。いずれの行事も中学生が頑張り、活躍する姿を示すことで、地域の皆様に喜んでいただけたことと思います。また、子ども達自身にとっても地域の一員としての自覚を高める良い機会になったと考えます。



ところで、私自身の「地域との関わり」ですが、都内で生まれ、多摩地区で学生時代を過ごし、現在は埼玉県に在住という次第で、引っ越しを繰り返して来ました。さらに、現在は休日も含めて家を空けることが多いため、地域の方々との接点も少なくなりがちです。そうした反省もあり、そろそろ落ち着いて地域に根を下ろし、年齢的にも現在の住まいを「終の棲家」にしていこうと考えるようになりました。今後も地域の一員として役割を少しずつ果たしながら、周囲の人とのつながりを深めていこうと思っています。そして、皆様がお住まいの練馬区ですが、区民意識意向調査によると、「練馬区に住み続けたい」という定住指向の方が、平成 15 年の 67.4%から、平成 26 年は 73.5%と高くなっているとのことです。地域に魅力を感じる人が多いということは大変喜ばしいことです。今後、高齢化が進み、地域としての課題も出てくるものと思われませんが、そうした中、今の中学生は地域を支える貴重な存在となっていきます。今後、子ども達が自分の身近な地域を大切にして、愛着をもつことの大切さを学び、実感できるように学校としても取り組んでまいります。

まもなく師走に入りますが、5 日（火）より全校で三者面談を実施します。また、今年も保護者の皆様を対象に「学校評価アンケート」を行いますので、ご協力くださいますようお願い致します。

オリンピック・パラリンピック講演会

オリンピック・パラリンピック教育担当 深津 肖子

11月11日(土)、ロンドンパラリンピック金メダリストの秋山里奈さんをお招きして講演会を開催しました。当日は、今回の講演会の準備をしていただいたチームエーブルプロジェクトの高秀



章子さんにも来ていただき、お二人の対談形式で講演会は進められました。生まれつき全盲の秋山さんが水泳を始めたきっかけや、15歳から出場している国際大会やパラリンピックでの出来事、北京大会での挫折感などを話していただきました。特にロンドン大会では、泳いでいる途中でコースロープにぶつかってしまい、心が折れそうになったけれど、最後の1本だと気持ちを切り替え、前向きな気持ちで諦めずに泳いで金メダルにつながった話など、たくさんの経験談を話してくださいました。



その後生徒から、「今、受験のプレッシャーで不安だけどうしたらよいか」、「家事などはどうしているのか」、「歩道を歩いたり、電車に乗るとき困ることはないか」などの質問がでました。ひとつひとつ丁寧に答えていただきましたが、点字ブロックの上に自転車や障害物があると困る話や、ロンドンでは、日本に比べて、施設面はバリアフリー化されていないけれど、近くの人がすぐに手助けしてくれることなど教えていただきました。最後に中学生に、これから先、まだまだ可能性があるのも、たくさんのことにチャレンジしてほしいとメッセージをいただきました。



教室に戻る時は、一人ずつハイタッチをしてくださり、金メダルにも触らせていただきました。



その後の生徒の振り返り学習では、全学年とも、「点字ブロックに自転車があったら移動させる。」、「あきらめないでチャレンジすることの大切さを学んだ。」、「困っている人がいたら積極的に手助けをしていきたい。」、「2020年のオリンピック・パラリンピックでボランティアをしてみたい。」、「金メダルが重くてビックリした。」など、様々な感想が書かれていました。今回のお話を聞いて、障害がある方の見方や考え方が変わったり、自分の意識や行動が良い方向に変わるきっかけになるとよいと思います。秋山さんの

お話から学んだことを大切にしていってくださることを願っています。

当日は、保護者の皆さまにも多数ご参加いただきました。ありがとうございました。アンケートにご記入いただいた感想から、いくつか紹介させていただきます。

講演会、とても良かったです。子どもたちにとっても体験を聞くことで今後の自分たちの夢に向かって実現できるように参考にしていってもらえたらと思っています。大事な金メダルとハイタッチ、ありがたいと思いました。

1年 保護者

何にでも興味をもち、やる気、根気、負けないための努力について、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。また、子どもたちの質問にたいねいに一生懸命答えていただき、ありがとうございました。とてもいい、充実した時間でした。 2年 保護者

素晴らしい企画をありがとうございました。“心”を育てることが何より大切なことと思育てられたご家族のことも知りたいと思いました。

体育館にいるどの人よりも健全に生きていच्छる秋山さんの「強さ」が、子どもたちに少しでも伝わることを祈ります。 3年 保護者



1年生 振り返り学習の様子……色付箋紙に、「Action (行動する・行動してみたいこと)」「Beyond (超える・イメージが変わったこと)」「Link (つながる・もっと知りたい!と思ったこと)」の3つの視点で意見を書いて、それぞれシートに貼り、意見の共有を図りました。

2年 校外学習 (東京めぐり)

2学年 校外学習担当 西宮 靖博

11月9日(木)に2学年校外学習(東京めぐり)が行われました。大きな行事が続く中で準備を進めていかなければならず、忙しい準備期間となりました。校外学習の内容も、1学年のときと比べて今回は行動範囲が広くなり、自分たちで行動計画を立てていくという難しさがありました。しかし各班で協力して行動計画を作り上げることができました。

当日は好天に恵まれ、事故なく無事に行動できました。「今までにない経験ができて楽しかった。」「浅草は思っていたイメージと違って新たな発見があった。」等、校外学習でいろいろなことを学べたという声が多くありました。一方、時間に遅れてしまう班が多く出てしまったのが反省点として挙げられます。計画の立て方や当日の時間の使い方で学んだことを、3学年での修学旅行に生かしてほしいと思います。



校外学習を終えて

1 学年 校外学習実行委員会担当 酒井 大樹

『新たな発見～練馬の歴史と文化・仲間の良いところを見つけよう～』実行委員が話し合って決めた第1学年校外学習のスローガンです。2学期から、実行委員を中心に生徒主体で、持ち物や決まりなどを話し合って考えました。事前学習では、小さい頃から過ごしている練馬区について学習を深めることができました。今まで住んでいても、知らない場所や歴史がたくさんある事に気付く生徒がたくさんいました。



そして当日、計画通りに行動できた班。迷ってしまったけれど地域の方に道を聞き、助けていただきながら目的地にたどり着くことができた班。練馬の歴史をクイズや物を使い楽しく学ぶことができた班。道に迷い、見学時間が短くなってしまっても、文句を言わず班員同士が前向きな言葉をかけ合い、臨機応変に行動できた班。どの班も、校外学習の目的を果たそうと心がけて行動していました。

事後アンケートでは、「友達の良いところをたくさん知ることができた。」「班員と協力し、臨機応変に行動できた。」「住んでいる町なのに、知らない事がたくさんあり、もっと学びたい。」といった感想がたくさん書かれていて、生徒達が、この行事を通して、練馬区内の歴史や文化を学び、また、仲間と協力する心や、決まりを守る態度が養われたことを実感しました。



この校外学習で学んだことを今後の学校生活、来年の校外学習（都内巡り）に生かして行ってほしいと思います。

中学校説明会&授業体験

10月24日の午後、大泉学園小と大泉学園緑小の6年生を対象に、中学校の説明と授業体験を行いました。5時間目の「中学校説明会」では、生徒会役員による、クイズを織り交ぜながらの学校生活や服装のルールなどの説明と、各部活の代表生徒による部活動紹介、また、今年度の海外派遣生から「海外派遣」の報告を行いました。6時間目は、クラスごとに中学校の授業を体験してもらいました。今年度は、国語、数学、英語、技術、家庭科の授業を行いました。積極的に手を挙げたり、活発に発言をして、みんな、意欲的に授業に参加していました。

